

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会
令和7年11月21日(金)

熱海地区「地域教育懇談会」を開催しました

熱海地区「地域教育懇談会」を10月21日(火)午後6時30分から熱海公民館で開催しました。熱海中学校、熱海小学校、安子島小学校、熱海保育所の保護者や教職員、地域の皆様など、約50名の参加がありました。

前半は、早崎保夫教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は各小・中学校管理職の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、郷土愛を育む教育や自他の生命(いのち)を大切にする教育の充実、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、コミュニティ・スクール、働き方改革、部活動等の在り方に関する指針、部活動の地域移行等

教育研修センター

教職員研修の推進、ICTを活用できる環境の充実、オンライン学習教材の活用、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

不登校児童生徒への支援、心身の健康状態を可視化するツールの活用、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等

後半のグループ協議では、地区内の小・中学校を代表して、熱海中学校長から現在の小・中学校の現状・課題について話していただき、3つのグループに分かれ、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

グループ協議のテーマ

【熱海中 園部校長より話題提供】

- SNS との向き合い方 (A・B グループ)
- 郷土愛を育むための地域と学校の連携 (C・D グループ)
- 地域における児童生徒の健康・安全への取組 (E・F グループ)



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<A・Bグループ>

- ・オンラインゲームや SNS の影響で、睡眠不足や勉強不足という課題が生まれている。
- ・1/3 の家庭がフィルタリングをかけずにスマホを使用させている。
- ・スマホやゲームの中だけの友達がいる子どももいる。
- ・保護者が時間を管理し、子どもと利用時間を決める、21 時以降触らないなどのルールを設定する、フィルタリングをかける、子どもとコミュニケーションをしっかりとる、SNS の怖さを教えるなど、大人が責任をもって行動することが大事である。
- ・SNS やネットについては、自分で判断する能力の向上が必要である。

<C・Dグループ>

- ・学校が実施する町内ウォークラリー、草むしり、芋掘り、書き初め、昔遊び、田植え、資源回収、職業体験、体育祭などに地域が積極的に参加している。
- ・共働き家庭の増加により、地域行事へ参加しにくくなっている。
- ・子どもが減少していることから、学校と地域が協力し、地域の魅力をどう伝えていくかが課題である。
- ・子どもが外で遊ぶなくなっている。少子化の影響もあるので、子どもたちが外で活動できるような環境づくりや行事の開催が大事である。

<E・Fグループ>

- ・年齢に関わらず睡眠時間が短い、朝起きられない、朝ごはんを食べない、という課題があり、保育所でも同様である。生活リズムが子どもの成長に影響が出ることを知ってもらうことが大事である。
- ・親世代にスマホ等に関する子どもの健康への影響を指導する必要がある。
- ・熊の出没により、保護者が子どもを学校へ車で送迎する必要がある。これに伴う子どもたちの体力低下や、送迎する保護者の負担が心配される。
- ・全体として虫歯の数が減少傾向にあることは素晴らしい。



グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。